

日本原子力学会 第 149 回倫理委員会
議事録

1. 日 時：2025 年 3 月 24 日（月）15:00～17:30
2. 場 所：原子力学会事務局会議室+Zoom（ハイブリッド） ※：Zoom 参加
3. 出席者：大場委員長，手柴副委員長，神谷幹事，伊藤(聡)委員^{*}，大久保委員，沖田委員，
後藤委員，芝原委員，出町委員^{*}，中野委員^{*}，福家委員，藤田委員
(委員 15 名中 12 名出席)
小林特別委員^{*}，佐藤特別委員

4. 資 料：

- 倫 149-1-1 前回議事録（案）
- 倫 149-1-2 委員の退任について
- 倫 149-2-1 倫理委員会活動計画
- 倫 149-2-2 倫理委員会役割分担表
- 倫 149-3-1 倫理委員会 2025 年春の年会企画セッション結果概要
- 倫 149-3-2 倫理委員会 2025 年春の年会企画セッションアンケート結果
- 倫 149-4 (欠番)
- 倫 149-5 2025 年度倫理研究会の企画（案）
- 倫 149-6-1 次回倫理規程改定に向けた検討について
- 倫 149-6-2 倫理規程改定案に係る意見募集の方法、周知について（案）
- 倫 149-6-3 倫理規程改定案意見募集 ご意見への対応等について
- 倫 149-6-4 倫理規程改定（案）比較表（2025 年 3 月 24 日）
- 倫 149-7 (欠番)
- 倫 149-8-1 理事会だより 2025 年 3 月 5 日
- 倫 149-8-2-1 倫理委員会 2024 年度事業報告
- 倫 149-8-2-2 倫理委員会 2025 年度事業計画

5. 議事概要：

(1) 前回議事録について

神谷幹事から資料 149-1-1 に基づき説明があり、特にコメントはなく、了承された。

(2) ミニ講演会

小林特別委員から、「会員アンケートから考える原子力の魅力～ダイバーシティ&インクルージョン推進の取り組みの一環として～」と題して講演いただき、小中高生や大学生に原子力・放射線分野の魅力を伝えるためのアイデア、学会内の委員会で女性比率を高める取組みの必要性、女性リーダーの経験の蓄積や次代に繋いでいくために必要なこと、国際的な議論の場では成果の内容がよくても多様な背景をもった構成員により作成されたのかが問われるようになっているとのこと等について意見交換を行った。

(3) 委員の退任等について

大場委員長から、資料 149-1-2 に基づき、手柴副委員長の倫理委員会からの退任について報告があり、手柴副委員長から挨拶があった。

これに伴い、倫理委員会規程に基づき、大場委員長が副委員長に沖田委員を指名し（2025 年 4 月 1 日～）、沖田委員から挨拶があった。

(4) 活動計画および役割分担について

手柴副委員長から資料 149-2-1 および 149-2-2 に基づき説明があった。主な議論等は以下のとおり。

- ・活動実績の倫理規程改定については、委員会での検討・議論を 2024 年 11 月まで、パブコメを 2025 年 1 月 14 日～3 月 21 日の期間に修正する。
- ・次回技術倫理協議会は 4 月 21 日の予定。

(5) 2025 年春の年会企画セッションについて（主担当：中村委員、副担当：出町委員）

出町委員から資料 149-3-1 および 149-3-2 に基づき、3 月 12 日実施の企画セッションの結果概要とアンケート結果について説明があった。

主な議論等は以下のとおりで、倫理委員会HP掲載に向けて、講師の確認等を進めていくこととした。

- ・講師は原子力関係機関の業務にも携わっているので、原子力分野のことも詳しく、分かりやすい講演であった。また、難しい質疑にも誠実に対応されている印象であった。
- ・講演により、分散していた知識がまとまって理解できた。
- ・他の企画との兼ね合いもあるが、参加者が少なかったことは残念であった。アンケートの回収率は 1 割程度だった。
- ・HPに掲載する結果概要について、講演での訴求点などが分かるように肉付けした方がよいのではないか。
- ・結果概要、プレゼン資料の掲載可否も含めて、引き続き講師との調整を進めていただきたい。

(6) 2025 年秋の大会企画セッションについて（主担当：出町委員、副担当：大久保委員）

出町委員から、核セキュリティ関連をテーマにした内容にしたい旨の説明があった。

主な議論等は以下のとおりで、次回委員会の前に学会事務局への提案が必要になるので、検討状況をメールベースで共有し、委員会大での議論を進めていくこととした。

- ・具体的な内容、目的を文章化して、そのうえで掲げるテーマを検討していく必要がある。
- ・その際には、倫理委員会として実施する理由、2021 年秋の大会で核セキュリティに関して実施した企画セッションとの関連も整理して、議論する必要がある。

(7) 2025 年度倫理研究会について（主担当：芝原委員、副担当：中野委員）

芝原委員から、資料 149-5 に基づき、企画案について説明があった。主な議論は以下のとおりで、引き続き検討していくこととした。

- ・不祥事の風化防止に対して各社でどのような取組みをしているのかは興味がある。不祥事のあとに入社した社員には、本質がなかなか伝わらない悩みがある。
- ・若手との意見交換に重きを置くのであれば、若手が興味を持てる内容に練っていく必要がある。
- ・本音トークをするには、チャタムハウスルールとすることも考えられる。また、参加者を20名とか少人数にするやり方もある。
- ・最近の企画セッションでお招きした方を講師とする案もよいのではないかな。
- ・必ずしもすっきりとした結果になる必要はなく、モヤモヤを残しながらも意見交換や悩みの共有ができれば価値ある場の設定になると思う。
- ・講演者に対する質問をグループワークで議論するというやり方もある。

(8) 次回倫理規程改定に向けた検討について

神谷幹事から資料 149-6-3 に基づき、倫理規程改定案に対する意見募集の結果といただいたご意見への対応案について説明があった。主な議論等は以下のとおりで、対応案については委員会終了後にメールベースで議論を行い、成案を得ることとした。

<ご意見 No.1>

- ・説明のあった対応案でよいのではないかな。

<ご意見 No.2>

- ・修正案のように「また」で2文目を追加するのは、現行規程と実質同じであり、規程を統合・整理するという趣旨が失われるのではないかな。
- ・倫理規程改定案は「…作業効率等を安全性に優先させない。」としているので、作業の安全性を向上させる結果として作業効率が上がることは矛盾せず、ご意見を踏まえても改定案を修正する必要はないのではないかな。

<ご意見 No.3-1>

- ・改定案を修正しないことでよいのではないかな。

<ご意見 No.3-2>

- ・改定案を修正しないことでよいのではないかな。

<ご意見 No.3-3>

- ・ご意見を修正しないことでよいと考えるが、対応の記載が簡潔すぎるので、我が国からの参画状況を例示的に記載してはどうか。

<ご意見 No.4-1>

- ・行動の手引4-2はタイトルが「契約に関する注意」なので、ご意見は理解できる。行動の手引4-1「誠実な行動」に「…説明できる行動をとる。」との文言があるので、ご意見を踏まえて行動の手引4-2は修正する検討をした方がよいのではないかな。

<ご意見 No.4-2>

- ・改定案を修正しないことでよいのではないかな。

<委員会による検討 No.A>

- ・検討案のように修正することでよいのではないかな。

(9) その他

- ・大場委員長から、学会総会用の事業報告と事業計画について紹介があった（学会事務局提出済み、資料 149-8-2-1 および 149-8-2-2）。
- ・大場委員長から、毎年実施している安全文化等に係る受託研修について、2025 年度も実施することとなったとの報告があった。
- ・毎年実施している標準委員会での倫理教育での実施内容については、次回委員会で議論することとした。

6. 次 回：2025 年 5 月下旬頃に開催することとし、別途調整することとした。

以上